

平成30年度全国学力・学習状況調査結果報告

【お問い合わせ先】日高町教育委員会 管理課 電話 01456-2-3721

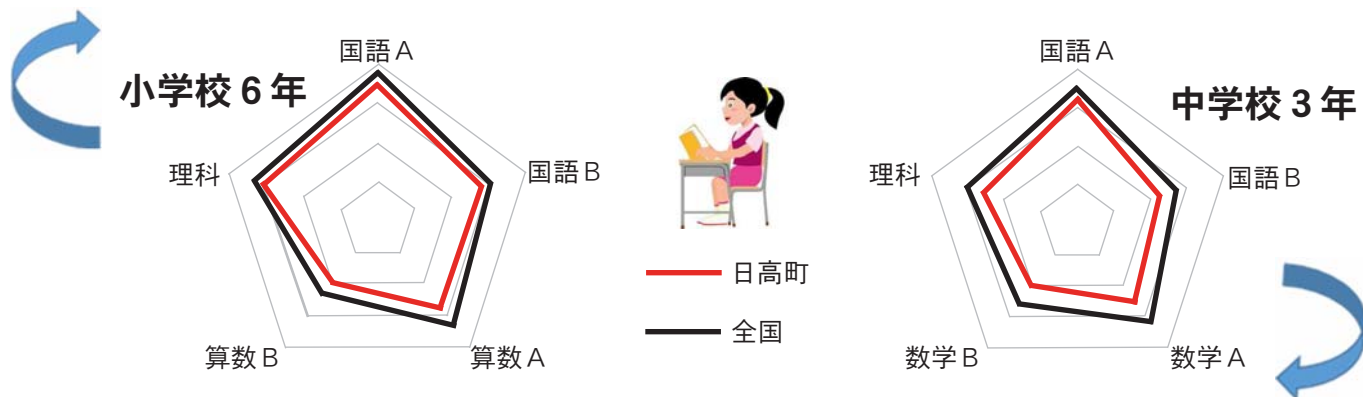
改善傾向は見られるが、厳しい結果

《調査概要》平成30年4月17日実施
調査対象 小6(109名) 中3(92名)
調査教科 学力調査(国語,算数・数学,理科)
A問題…主に「知識」に関する問題
B問題…主に「活用」に関する問題
児童生徒の生活習慣等の質問紙調査
学校の取組に対する質問紙調査

【小学校】《成果◎と課題△》

◇国語Aは全国平均正答率に近づく

- ◎国語A：「読むこと」の領域ではほぼ全国平均正答率と同等であり、「目的に応じて必要な情報を捉える」は全道平均正答率を上回っている
- △国語B：「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる」、「目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く」の定着
- ◎算数A：「単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解している」と「異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方を理解している」はほぼ全国平均正答率と同等
- △算数B：「メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目しててことを解釈し、それを記述できる」、「棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断することができる」の定着
- ◎理 科：「骨と骨のつなぎ目について、化学的な言葉や概念を理解している」、「人の腕が曲がる仕組みをモデルに適用できる」はほぼ全国平均正答率と同等
- △理 科：実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述できる」、「実験結果から言えることに言及した内容に改善し、その内容を記述できる」の定着



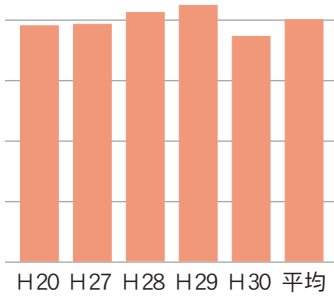
【中学校】《成果◎と課題△》

◇国語A・国語B・理科は全国平均正答率に近づく

- ◎国語A：「段落相互の関係に注意し、読みやすく分かりやすい文章にする」はほぼ全国と同等
- △国語A：「書こうとする事柄のまとめりや順序を考えて文章を構成する」、「話し合いの話題や方向を捉える」が、全国平均正答率との差がある
- ◎国語B：「全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話す」は全国平均正答率と同等
- △国語B：「目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く」の定着
- ◎数学A：「数直線上に示された負の整数を読み取ることができる」、「単項式どうしの除法の計算ができる」の正答率が90%である
- △数学A：「数量の大小関係を不等式に表すことができる」、「 $S = 1/2 ah$ をaについて解く…等式変形」の定着
- ◎数学B：「問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる」は全国平均正答率と同等
- △数学B：「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる」の定着
- ◎理 科：「化学的領域」、「生物的領域」は全国平均正答率と同等
- △理 科：「オームの法則を使って、抵抗の値を求めることができる」の定着

◇◆早寝早起き朝ごはん運動 家庭でメディアルールを◇◆

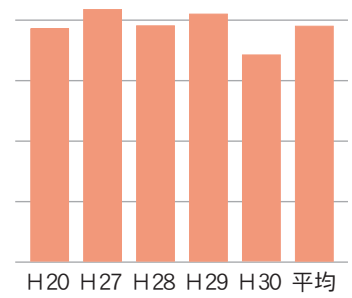
小学校 朝食をとる



一日の始まりは、朝食から

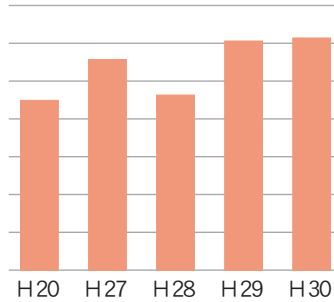
- 朝食を毎日食べている ()は全国児童74.3%(84.8%) 生徒68.1%(79.7%)
- ◇食べない児童生徒は10%以上いる。また全国と比べ必ず食べる児童生徒は10ポイントほど下回っている。
- ◇今後も「早寝早起き朝ごはん運動」を各家庭で取り組むことが大切です。

中学校 朝食をとる

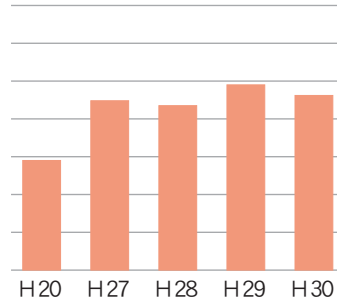


計画を立てて学習する 児童が増加傾向にある！

小学校 6年



中学校 3年



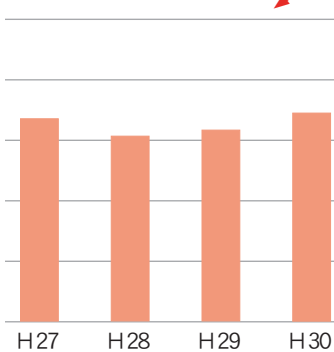
- 計画を立てて学習する ()は全国児童61.5%(67.6%)、生徒46.2%(52.4%)
- 宿題をする ()は全国児童93.6%(97.1%)、生徒85.7%(91.6%)
- 予習復習をする ()は全国児童63.3%(62.6%)、生徒46.5%(55.2%)
- 家で教科書を使いながら学習 ()は全国児童54.2%(69.6%)、生徒77.0%(71.3%)
- 学習時間(月～金)1時間以上 ()は全国児童42.3%(66.2%)、生徒39.6%(70.6%)



家庭学習の定着を！ 学年×10分

月曜日から金曜日まで家庭で1時間以上学習する児童生徒の割合は、全国と比べ、小学校で約24ポイント、中学校で31ポイント下回っている。「宿題をする」、「計画を立てて学習する」児童生徒の割合は改善傾向にあるため、今後は、量的に増加することが重要となる。

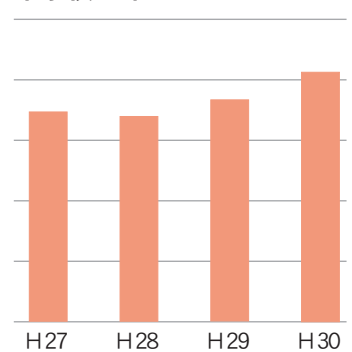
小学校 6年



自分にはよいところがある

- 自分にはよいところがある ()は全国児童：68.8%(84.0%)、生徒：82.5%(78.8%)
- 先生がよいところを認める ()は全国児童：79.8%(85.3%) 生徒：91.1%(82.2%)
- 将来の夢や目標がある ()は全国児童77.1%(85.1%) 生徒75.9%(72.4%)
- ◇「自分にはよいところがある」と考える児童は減少傾向であり、生徒は増加傾向である。よいところを認め、自尊心を高めて自信を持たせることが大切である。

中学校 3年



【学力向上に関する日高町3年次計画】



3年後の子どもの姿 →

- ◎授業の目標を意識して学び、振り返る活動を行う
- ◎記述式の問題で最後まで解答を書こうと努力する
- ◎学校以外でも自ら課題を見つけ解決しようと挑戦する